



いたわりPlus

経営情報



市立病院の運営について、市民の皆さんに知ってもらうことは重要なことで、そのひとつが経営情報の発信だと考えております。

平成30年3月に新たな病院広報誌「いたわりPlus」を発行し、経営情報をお知らせしたところですが、今後はより具体的に、より分かりやすく解説を加えた「いたわりPlus経営情報」で発信してまいります。

グラフで見る経営状況

病院の経営状況を把握するための指標として、代表的なものに**経常収支比率**と**医業収支比率**があります。病院の大小によらず、客観的な数値で表すことができるため、経営状況を分析する際には重要な指標となります。



新人看護師 ココロちゃん

ねえねえ、病院の経営って、そもそもどう見たらいいの？

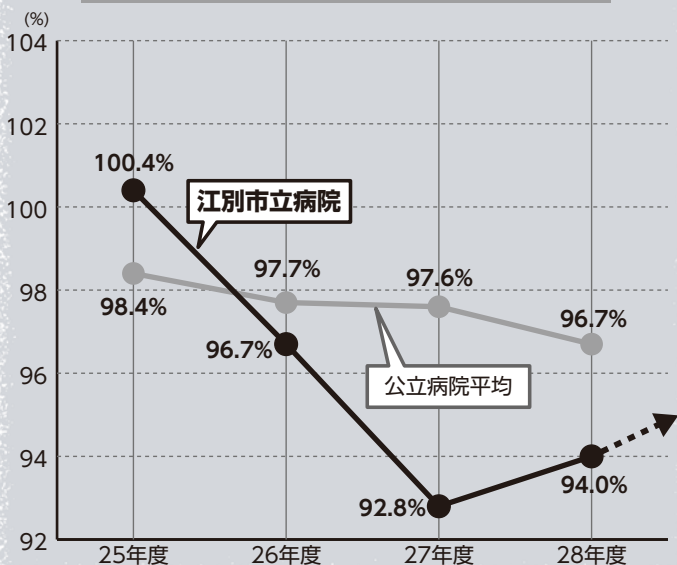


病院事務員 シスちゃん

金額で比較しようにも、病院の規模が違えばバラバラですからね。

金額そのものではなく“収支比率”で見るという方法があります。ここでは江別市立病院と全国の公立病院の平均を比べてみましょう

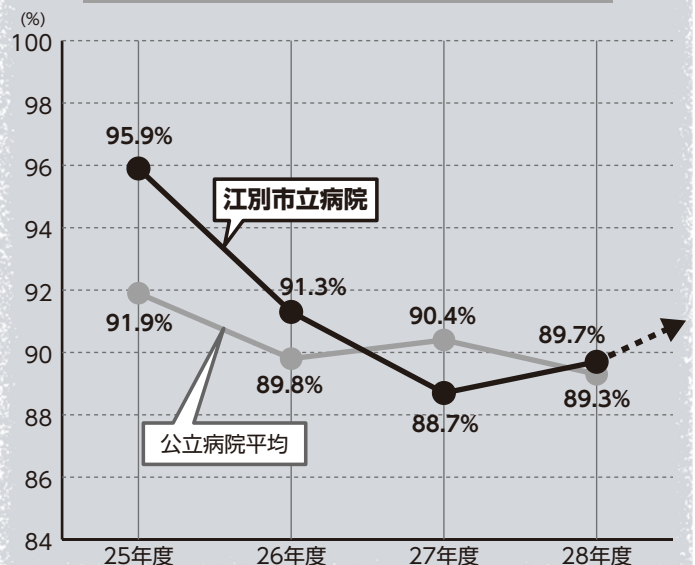
経常収支比率の比較



病院を運営していくうえで、さまざまな収入（医療行為による収益など）や費用（給与費や材料費や借入金の利息など）が発生します。こうした病院運営に必要な、毎年度経常的に発生する収入と費用の比率をいいます。健全な経営のためには100%を超えることが理想です。

江別市立病院では平成32年度までに100%を超えることができよう、経営改善に取り組んでいます。

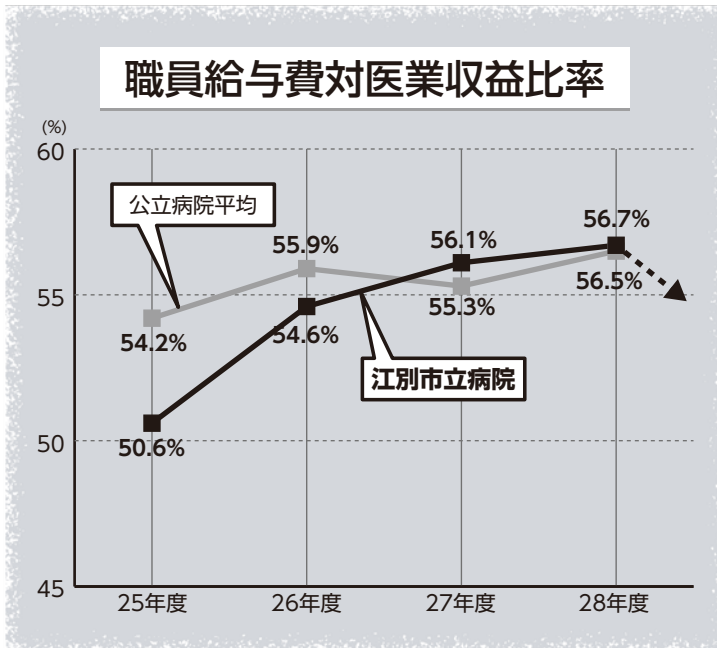
医業収支比率の比較



病院の本業である医療行為から発生する収入と費用の比率のことです。経常収支比率と同様に100%を超えることが理想ですが、公立病院は採算性の低い分野の医療を担っていることもあり、100%を超えることは難しい状況にあります。

江別市立病院では、より100%に近い数値となるよう、経営改善に取り組んでいます。

収支比率は、収益または費用の増減によって変動します。病院経営に必要な費用のうち、特に重要なものが、**給与費と材料費**です。この2つの費用についても、全国の公立病院の平均と比べてみます。



病院運営には医師・看護師などの医療職が不可欠です。医療は労働集約型産業といわれ、経費の約半分を人件費が占めています。



Q 年々比率が上昇しているけど、どうしてなの？

A 診療体制を充実させるため、医師・看護師などの医療職の採用人数を増やしたことが理由のひとつです。職員数が増えることで人件費は増え、比率は上昇してしまいますが、診療報酬の中にはスタッフの配置を要件とする加算も多いのです。

給与費対医業収益比率は上昇してしまいましたが、27年度から28年度にかけて経常・医業収支比率はわずかですが改善することができました。今後も、人件費の増加分以上に、診療収益を増やすことが重要です。



診療を行うために必要な、注射器や包帯などの診療材料や、点滴や注射液などの医薬品にかかる費用のことを「材料費」といいます。

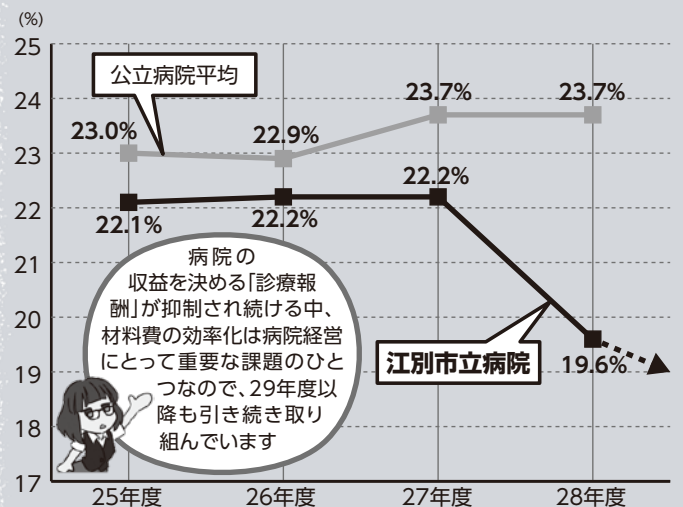


Q ずっと横ばいだったのに、27年度から28年度に比率が下がったのはなぜ？

A 市立病院では、経営を改善するためにさまざまな費用を削減しようと、努力を続けています。医薬品はジェネリック医薬品への切り替えを進めており、診療材料も品質や性能に影響のない範囲で、より安く購入できる商品へ切り替える取り組みをしています。27年度の後半から特に力を入れて取り組んだ結果、28年度に効果が大きく表れました。



材料費対医業収益比率



グラフ中、公立病院平均の値

出典：総務省「地方公営企業年鑑」(H25-H28)病院事業中、300-400床全体より

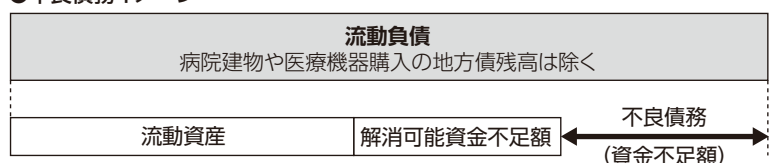
用語解説

不良債務について

不良債務とは、「地方財政法」や「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」でいう資金不足額のことで、

「地方公共団体の財政健全化に関する法律」では資金不足比率(医業収益に占める資金不足額の割合)で経営の健全性を確認することとしており、毎年度議会に報告することが求められています。資金不足比率が20%を超えると経営健全化計画の策定が義務付けられることから、資金不足額の縮減・解消は重要な課題です。

●不良債務イメージ



●参考 資金不足比率の推移

年度	26年度	27年度	28年度	29年度見込
資金不足比率	0.0%(なし)	0.0%(なし)	0.0%(なし)	約4%